

生活の絵カード | 声かけと使い方

1枚に4つのカードがあります。大人が外側の黒い四角い点線で切り分けて準備します。絵や文字の輪郭は切りません。10枚目の青い線はシャワーの水を表しています。

指さし・視線・カードを渡す方法など、本人が伝えやすい方法で選べます。名前を声に出すこと、文字を読むこと、全て答えることを条件にしません。「どれも選ばない」「今はやらない」も認め、疲れや不快があれば休めます。本人の選択や生活上の希望に決まった正解はありません。

はさみを使う場合は扱いに合わせて大人が支援し、刃を向けないように見守ります。カードや切りくずの口入れに注意します。A4縦でページ全体が収まる設定で印刷し、必要なら拡大してください。

AI作成のたたき台です。実印刷・利用者の試用・教育効果は未検証。本人の意思と反応に合わせて選んでください。

01 てあらいの どうぐ

声かけ1：「てを あらうとき、つかうものは どれかな」

声かけ2：「おうちに あるものと にているかな」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚を一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：実物に触れる活動では水温や皮膚への刺激を大人が確認します。せっけんを口に入れないよう見守ります。

絵と名称の対応：左上＝せっけん、右上＝じゃぐち、左下＝せんめんだい、右下＝ペーパータオル。選ぶ活動には決まった正解はありません。

02 はみがきの どうぐ

声かけ1：「はぶらしは どれかな」

声かけ2：「つかってみたい ものを おしえてね」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚を一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：口への刺激や歯磨きの苦手さに配慮し、実際の歯磨きやうがいを強制しません。砂時計は任意の補助で、時間の達成を求めません。

絵と名称の対応：左上＝はぶらし、右上＝はみがきこ、左下＝うがいこつぷ、右下＝すなどけい。選ぶ活動には決まった正解はありません。

03 しょくじの どうぐ

声かけ1：「ごはんの とき、なにを つかうかな」

声かけ2：「すきな どうぐを えらんでね」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：箸やスプーンの使い方を一律に求めず、本人の使いやすい道具を認めます。食べることや完食を条件にしません。

絵と名称の対応：左上=ちゃわん、右上=さら、左下=はし、右下=すプーン。選ぶ活動には決まった正解はありません。

04 たべる じゅんび

声かけ1：「つかいたい どうぐは あるかな」

声かけ2：「おぼんには なにを のせようか」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：食具は家庭や身体の使用方で違います。実物を扱うなら割れない器を選び、尖った道具は大人が管理します。

絵と名称の対応：左上=ふおーく、右上=おわん、左下=おぼん、右下=なぶきん。選ぶ活動には決まった正解はありません。

05 きがえの ふく

声かけ1：「どの ふくを きたいかな」

声かけ2：「おうちの ふくと にているかな」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：性別で服や色を決めません。着替えへの抵抗や肌触りの好みを尊重し、人前での着替えを求めません。

絵と名称の対応：左上＝しゃつ、右上＝ずぼん、左下＝くつした、右下＝ぱじゃま。選ぶ活動には決まった正解はありません。

06 せんたくの どうぐ

声かけ1：「せんたくかごは どれかな」

声かけ2：「みたことが あるものを おしえてね」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：洗濯機の操作や中に入る活動には使いません。実物の洗濯ばさみは指はさみと口入れに注意して大人が見守ります。

絵と名称の対応：左上＝せんたくき、右上＝せんたくかご、左下＝はんがー、右下＝せんたくばさみ。選ぶ活動には決まった正解はありません。

07 かたづける ばしょ

声かけ1：「ほんを おくところは どこかな」

声かけ2：「じぶんの いれやすい ばしょは どこかな」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：家庭ごとの収納方法を認めます。棚に登る、重い家具を動かす、ゴミを触ることを課題にしません。

絵と名称の対応：左上＝ほんだな、右上＝たんす、左下＝くつばこ、右下＝ごみばこ。選ぶ活動には決まった正解はありません。

08 そうじの どうぐ

声かけ1：「みたことの ある どうぐは どれかな」

声かけ2：「どんな かたちを しているかな」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：掃除機の音が苦手なら絵を見るだけにします。洗剤や電源操作は求めず、家事を性別や従順さの評価に結びつけません。

絵と名称の対応：左上＝ほうき、右上＝ちりとり、左下＝ぞうきん、右下＝そうじき。選ぶ活動には決まった正解はありません。

09 ねる ときの もの

声かけ1：「ねるとき、そばに ほしいものは あるかな」

声かけ2：「つかわない ものが あっても いいよ」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：寝具の好みや生活環境を尊重します。眠ることや消灯を強制しません。「でんき」はこの絵では照明を表します。

絵と名称の対応：左上=まくら、右上=ふとん、左下=もうふ、右下=でんき。選ぶ活動には決まった正解はありません。

10 おふろの どうぐ

声かけ1：「おふろで みたものは どれかな」

声かけ2：「つかいたい ものを おしえてね」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：絵の選択だけで使えます。実際の浴室では大人がそばを離れず、水温・転倒に注意します。入浴や身体への接触を強制しません。

絵と名称の対応：左上=おけ、右上=おふろいす、左下=しゃわー、右下=すぽんじ。選ぶ活動には決まった正解はありません。

11 おうちの ばしょ

声かけ1：「いきたい ばしょは どこかな」

声かけ2：「おうちの ばしょと にているかな」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：行きたい場所を伝えるためにも使えます。トイレや入浴の希望・拒否、プライバシーを尊重し、写真と異なる間取りも認めます。

絵と名称の対応：左上＝げんかん、右上＝だいどころ、左下＝といれ、右下＝おふろ。選ぶ活動には決まった正解はありません。

12 しょくたくの まわり

声かけ1：「いすは どれかな」

声かけ2：「おうちに あるものを おしえてね」

簡単にする方法：最初は見慣れた2枚だけ示します。難しければ1枚と一緒に見て、身近な物を指さすだけでもかまいません。

安全・個別条件：机や椅子の形は家庭によって違います。時計は名称カードで、時刻を読むことは求めません。家具へ登ったり家電を操作したりしません。

絵と名称の対応：左上＝つくえ、右上＝いす、左下＝れいぞうこ、右下＝とけい。選ぶ活動には決まった正解はありません。